

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

| | | | | |
|---------------|--|-----|-------------|---------|
| 科目名(英) | eビジネス総合演習 | | 授業コード | P150251 |
| 担当教員名 | 赤星 哲也・濱田 大助・星芝 貴行・高 文局・坂井 美穂・足立 元・坪倉 篤志・吉森 聖貴・福島 学・鈴木 秀男・松永 多苗 | | 科目ナンバリングコード | P31502 |
| 配当学年 | 3 | 開講期 | 後期 | |
| 必修・選択区分 | 選択 | 単位数 | 2 | |
| 履修上の注意または履修条件 | ITパスポート資格取得のための演習を行います。資格を取得している人は対象外です。 | | | |
| 受講心得 | 資格取得を目指しているため、授業時間では不十分な場合は授業時間外でも積極的に演習に取り組んでください。 | | | |
| 教科書 | 別途、指示します。 | | | |
| 参考文献及び指定図書 | イメージ&クレーバー方式でよくわかる栢木先生のITパスポート教室CBT対応(情報処理技術者試験)技術評論社 栢木厚(著) | | | |
| 関連科目 | コンピュータ基礎, IT基礎, eビジネス基礎 | | | |

| | |
|-------|--|
| 授業の目的 | 本授業では、「コンピュータ基礎」、「IT基礎」、および、「eビジネス基礎」で学んできた、ビジネスにおいてICTを利活用するために必要な幅広い知識について、演習を通じてさらに理解を深めます。そしてその結果として、ITパスポート資格を取得できるレベルに達することを目的とします。 |
| 授業の概要 | 授業最初に ITパスポートの公開問題を用いて試験を実施します。その結果に基づいて、マネジメント系・ストラテジ系・テクノロジ系それぞれの知識に関する各自の理解度の確認を行い、学習目標をたて、主に理解度が足りない部分を集中的に演習します。理解を深めるために、間違いやすい項目や理解しにくい概念について説明しあう等のグループワークを行う場合があります。最後に、再度 ITパスポート模擬試験を実施し、振り返りを行います。 |

| ○授業計画 | |
|--|----------------------------------|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第1週：ガイダンス, 理解度確認テスト ITパスポート疑似体験ソフトウェアを用いて、理解度確認テストを実施します。 | 理解度確認テストの誤解答箇所理解・関連項目の復習(4H) |
| 第2週：理解度確認テスト 引き続き、理解度確認テストを実施します。 | 理解度確認テストの誤解答箇所理解・関連項目の復習(4H) |
| 第3週：理解度確認テストの解説, 学習計画 理解度確認テストの解答、およびその解説を踏まえて試験結果の解析を行い、個別重点項目を定めて個人の学習計画を立案します。また、正解率が低かった項目を共通の重点学習項目として設定し、グループで学習計画を立てます。その計画に従って、グループごとに共通重点学習項目について、理解を深めるための議論を行います。 | 重点項目の予復習(4H) |
| 第4週：ストラテジ系知識に重点を置いた演習 ストラテジ系分野に関して、個別およびグループで演習を行います。 | ストラテジ系演習問題・誤解答箇所の理解・関連項目の復習(4H) |
| 第5週：ストラテジ系知識に重点を置いた演習 ストラテジ系分野に関して、個別およびグループで演習を行います。 | ストラテジ系演習問題・誤解答箇所の理解・関連項目の復習(4H) |
| 第6週：ストラテジ系知識に重点を置いた演習 ストラテジ系分野に関して、個別およびグループで演習を行います。 | ストラテジ系演習問題・誤解答箇所の理解・関連項目の復習(4H) |
| 第7週：マネジメント系知識に重点を置いた演習 マネジメント系分野に関して、個別およびグループで演習を行います。 | マネジメント系演習問題・誤解答箇所の理解・関連項目の復習(4H) |

| | | |
|---|----------------|--|
| 第8週：マネジメント系知識に重点を置いた演習 マネジメント系分野に関して、個別およびグループで演習を行います。 | | マネジメント系演習問題・誤解答箇所 ^{の理解} ・関連項目 ^{の復習} (4H) |
| 第9週：マネジメント系知識に重点を置いた演習 マネジメント系分野に関して、個別およびグループで演習を行います。 | | マネジメント系演習問題・誤解答箇所 ^{の理解} ・関連項目 ^{の復習} (4H) |
| 第10週：テクノロジ系知識に重点を置いた演習 テクノロジ系分野に関して、個別およびグループで演習を行います。 | | テクノロジ系演習問題・誤解答箇所 ^{の理解} ・関連項目 ^{の復習} (4H) |
| 第11週：テクノロジ系知識に重点を置いた演習 テクノロジ系分野に関して、個別およびグループで演習を行います。 | | テクノロジ系演習問題・誤解答箇所 ^{の理解} ・関連項目 ^{の復習} (4H) |
| 第12週：テクノロジ系知識に重点を置いた演習 テクノロジ系分野に関して、個別およびグループで演習を行います。 | | テクノロジ系演習問題・誤解答箇所 ^{の理解} ・関連項目 ^{の復習} (4H) |
| 第13週：模擬試験 ITパスポート疑似体験ソフトウェアを用いて、模擬試験を実施します。 | | 誤解答箇所 ^{の理解} ・関連内容 ^{の復習} (4H) |
| 第14週：模擬試験 引き続き、模擬試験を実施します。 | | 誤解答箇所 ^{の理解} ・関連内容 ^{の復習} (4H) |
| 第15週：模擬試験の解説、振り返り 模擬試験の解答および解説を踏まえて試験結果の解析を行います。学習計画とその結果を振り返り、達成度を確認の上、資格取得に向けての将来計画を立てます。 | | 模擬試験解答 ^{の復習} と資格取得 ^{に向けた演習} (4H) |
| 第16週： | | |
| 授業の運営方法 | (1)授業の形式 | 「演習等形式」 |
| | (2)複数担当の場合の方式 | 「共同担当方式」 |
| | (3)アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| 地域志向科目 | 該当しない | |
| 備考 | | |

| | |
|-----------------------------|---|
| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
| 【関心・意欲・態度】 | ICT関連資格を取得するために、自発的に取り組むことができる。 |
| 【知識・理解】 | ①IT技術の基礎知識を理解できる(ITパスポートのテクノロジ系の範囲)。 ②経営全般に関する基礎知識を理解できる(ITパスポートのストラテジ系の範囲)。 ③IT管理に関する基礎知識を理解できる(ITパスポートのマネジメント系の範囲)。 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | 専門的な知識を他者にわかりやすく説明するために、グループで多角的な観点から討議することができる。 |
| 【思考・判断・創造】 | |

| | | | | |
|--|-----------------|---------------|--------------|------|
| ○成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等(テスト) | レポート・作品等(提出物) | 発表・その他(無形成果) | |
| 【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | 20点 | | |

| | | | |
|--|------------|--|------------|
| 【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。 | 60点 | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | | 20点 |
| 【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。 | | | |

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
|-------------------|---|
| レポート・作品等 (提出物) | 学習計画書における「計画内容の具体性」、および、計画内容に対する「達成度」を指標として評価します。 |
| 発表・その他 (無形成果) | グループワークでの取り組み姿勢について、「積極性」と「意見の調整能力」の観点から評価します。 |